

日税FPメルマガ通信



2023年10月20日発行
 編集:税理士 FP 実務研究会事務局
 (株)日税ビジネスサービス
 東京都新宿区西新宿 1-6-1 新宿エルタワー29階

第395号

◆FRB における重要指標「PCE」を徹底解説

米国の政策金利の引き上げ余地があるのか？もう打ち止めなのか？

多くの投資家が注目をしているでしょう。

米国の政策金利を決定する FRB が注目している経済指標の 1 つに「PCE」があります。

そこで、今回は PCE とはどのような指標か？また、PCE 同様、インフレ指標として注目される米 CPI との違いについて解説します。

1. PCE とは

PCE とは Personal Consumption Expenditures の頭文字をとったもので、米国個人消費支出のことです。米国の家計が消費した財やサービスを集計した経済指標で、米商務省が毎月公表しています。米国の個人消費支出は GDP の約 7 割を占めるとされており、GDP の先行指標として重視される指標です。

また名目 PCE を実質 PCE で割って算出する PCE デフレーターは、消費段階での物価上昇圧力を測ることができます。

【 PCEデフレーターの計算式 】

$$\text{PCEデフレーター} = \text{名目PCE} \div \text{実質PCE}$$

PCE デフレーターから、価格の変動が大きい食品とエネルギーを除いた「PCE コアデフレーター」は、インフレやデフレの度合いを測る指標として、特に FRB では重要視しています。

なお PCE デフレーターは、米商務省が毎月下旬に前月分のデータを公表し、四半期 GDP 発表時には、四半期ベースのデータも発表されます。

発表元	米商務省経済分析局(BEA)
発表日	毎月下旬
発表時間(日本時間)	22:30 (サマータイムは21:30)

2. PCE と米 CPI の違い

CPI とは Consumer Price Index の頭文字ととったもので、消費者物価指数のことを指します。米国で発表される CPI は都市部で生活する消費者が購入する財やサービス価格の変化を指数化した指標で米労働省労働統計局から発表され、物価の動きを測る物差しとして用いられます。

米 CPI と PCE は 2 大インフレ指標として、投資家から注目を集める経済指標ですが、主に「調査方法」「調査範囲」「公表日」の 3 つの違いがあります。

調査方法

米 CPI は食品・住宅・アパレル・医療費・教育費など約 200 項目の価格の変化を指数化したものです。一方、PCE は米国の個人が実際に使った金額を基に集計して指数化しています。

また医療費のように、企業や政府が支出することで消費者が享受するサービスについては、米 CPI は自己負担のみ集計されますが、PCE は全額が集計されます。そのため PCE は医療費のウエイトが高くなる傾向があり、米 CPI は住宅費用のウエイトが高い傾向があります。

調査範囲

米 CPI の調査範囲が主に都市部であるのに対し、PCE は全米が対象で、企業の小売りデータを基にしています。PCE のほうがより広範囲に調査されていると言えるでしょう。

公表日

PCE が毎月下旬に前月分が公表されるのに対し、CPI は毎月中旬に前月分が公表されます。これは PCE のほうが調査範囲が広く、計測方法も煩雑であることから調査に時間がかかるためです。

PCE と米 CPI の違いをまとめると以下の通りとなります。

	PCE	米CPI
調査方法	個人が実際に使った金額を基に算出	約200項目の価格の変化
調査範囲	全米が対象	主に都市部
発表元	米商務省経済分析局 (BEA)	米労働省労働統計局
発表日	毎月下旬	毎月中旬
発表時間(日本時間)	22:30 (サマータイムは21:30)	

FRB は PCE と米 CPI のどちらを重視する？

PCE と米 CPI はどちらも重要な指標ですが、新製品や低価格品への代替行動が反映されます。上昇方向へのブレが生じにくく、より米国の物価動向を正確に示していることから FRB は PCE を重視します。

実際に FRB は米議会に提出する「金融政策に関する報告書」や、FOMC が公表する経済予測の中でも、インフレ見通しを示す際に PCE デフレーターを使用しています。

なるべく早く市況を知って投資判断をしたい投資家は米 CPI を重視、FRB はより物価動向を正確に把握して判断をしたいために PCE を重視すると考えられます。

3. まとめ

PCEとは米国の家計が消費した財やサービスを集計した経済指標です。価格の変動が大きい食品とエネルギーを除いた「PCEコアデフレーター」は、特にFRBでは重要視しています。CPIとPCEは2大インフレ指標として、投資家から注目を集める経済指標ですが、より米国の物価動向を正確に示していることからFRBはPCEを重視します。

<著者プロフィール>

福田 猛 氏

ファイナンシャルスタンダード株式会社 代表取締役

大手証券会社入社後、10年間、1,000人以上の資産運用コンサルティングを経験。2012年IFA法人であるファイナンシャルスタンダード株式会社を設立。独立系資産運用アドバイザーとして数多くのセミナーを主催し、幅広い年齢層の顧客から支持を受け活躍中。

著書に「金融機関が教えてくれない 本当を買うべき投資信託」(幻冬舎)がある。
2015年楽天証券IFAサミットにて独立系ファイナンシャルアドバイザーで総合1位を受賞。

■■■■■ 著作権 など ■■■■■

著作権者の承諾なしにコンテンツを複製、他の電子メディアや印刷物などに再利用(転用)することは、著作権法に触れる行為となります。また、メールマガジンにより専門的アドバイスまたはサービスを提供するものではありません。貴社の事業に影響を及ぼす可能性のある一切の決定または行為を行う前に必ず資格のある専門家のアドバイスを受ける必要があります。メールマガジンにより依拠することによりメールマガジンをお読み頂いている方々が被った損失について一切責任を負わないものとします。

参考

経済金融情報メディア「F-Style」:<https://fstandard.co.jp/column/>

“F-Style”とは？

人々の暮らしと密接に関わる「お金のヒミツや仕組み」を、より分かりやすくお伝えする経済金融メディアです。